



# 第 149 期 報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで





TOKYO ink

証券コード: 4635



# --- 企業理念 ----

暮らしを彩る、 暮らしに役立つものづくりで、 社会に貢献する。

---- 目指すべき企業像 ----

色彩を軸に、 市場が求める価値をお客様と共に創造、 実現し続ける企業。

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、2020年4月1日から2021年3月31日に至る当社グループの第149期報告書をお届けいたしますので、ご高覧くださいますようお願い申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申しあげます。

# ■事業の経過およびその成果

当連結会計年度(2020年4月1日~2021年3月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、景気は急速に悪化し、厳しい状況となりました。1回目の緊急事態宣言解除をきっかけとして国内消費に緩やかな回復基調が見られたものの、第2波、第3波と感染者が再び急増し、景気の先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、既存の事業領域における競争力強化と顧客満足の向上および周辺 事業領域への拡大に引き続き努めてまいりましたが、大変厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が381億6千5百万円で前年度比44億6百万円の減収(10.4%減)、営業利益は2億5千6百万円で前年度比3億3千6百万円の減益(56.7%減)、経常利益は6億2千2百万円で前年度比1億8千6百万円の減益(23.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億円で前年度比5千6百万円の減益(8.6%減)となりました。

# セグメント別情報

### ●インキ事業

インキ事業を取り巻く各製品の市場環境の分析は、下記のとおりです。 オフセットインキにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響 による需要減とともに、デジタル化への移行による商業印刷の減少によ る市場の縮小化の加速が進行しております。

グラビアインキにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による食品用途での需要の増加が見込めますが、一方で市場全体の縮小化が進行しております。

インクジェットインクにつきましては、産業用を中心に拡大傾向にありますが、主な需要先である北米・EU諸国での新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、販売が減少しております。

次に、インキ事業における各製品の当連結会計年度の概況をご報告いたします。

オフセットインキおよび印刷用材料は、新型コロナウイルス感染症の 影響が長引き、折込チラシ、旅行関連、イベント企画等あらゆる印刷物 の需要が落ち込む中、選択と集中で売上確保に努め、復調の気配はあっ たものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準までには戻らず、売 上高・利益ともに前年度に比べ大きく減少いたしました。

グラビアインキは、新型コロナウイルス感染症の影響により、贈答用・土産用の紙用グラビアインキが落ち込みましたが、在宅による食品需要の増加により、戦略製品である環境対応インキ・バリア機能インキなどの高付加価値品の販売が前年度に比べ増加いたしました。また、固定計算削減の効果もあり、売上高は減収となりましたが、増益となりました。

インクジェットインクは、受託インクが、第3四半期以降、復調の気配があったものの、主要市場である北米やEU諸国で新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、産業用機能性インクにおいても、化粧品用、建材用需要の減少により、売上高・利益ともに前年度に比べ減少いたしました。

この結果、インキ事業の売上高は、114億1百万円で前年度比20億5千3百万円の減収(15.3%減)、セグメント利益は2億8百万円で前年度比8千9百万円の減益(30.2%減)となりました。

### ●化成品事業

化成品事業を取り巻く各製品の市場環境の分析は、下記のとおりです。マスターバッチは、自動車用途については、新型コロナウイルス感染症による経済活動停滞に伴う需要減に見舞われましたが、徐々に回復するものと推察しております。しかし、フィルムやその他各種用途向けにつきましては、脱プラスチックの影響を受けているものと思われます。今後もその傾向は加速するものと思われ、今後も継続するものと推察されます。

樹脂コンパウンドは、樹脂メーカーのインライン化の進行が継続しております。

次に、化成品事業における各製品の当連結会計年度の概況をご報告いたします。

着色剤、添加剤等のマスターバッチ製品は、新型コロナウイルス感染症の影響により、食品包材や衛生材関係で好調な製品はありましたが、外出自粛やインパウンド需要の減少などにより、衣料品、化粧品、日用品向けなどの一般包装資材関係は不調のまま回復せず、また、農業資材関係は、天候不順や人手不足の影響を受け、売上高・利益はともに前年度に比べ減少いたしました。自動車用途は、新型コロナウイルス感染症による自動車生産台数起因による大幅な減少があり、第3四半期以降は復調しましたが、売上高・利益ともに前年度に比べ減少いたしました。

樹脂コンパウンドは、新型コロナウイルス感染症の影響により、電子機器関係、OA機器関係が好調でしたが、マスターバッチと同様に自動車関係における生産台数起因による大幅な減少の影響が大きく、売上高・利益ともに前年度に比べ減少いたしました。

この結果、化成品事業の売上高は、184億9百万円で前年度比23億5千7百万円の減収(11.4%減)、セグメント利益は10億9千2百万円で前年度比4億4千1百万円の減益(28.8%減)となりました。

### ●加工品事業

加工品事業を取り巻く各製品の市場環境の分析は、下記のとおりです。ネトロン工材は、水処理用資材の需要が旺盛であり、新型コロナウイルス感染症の影響も受けず、今後も順調に推移するものと推察されます。ネトロン包材は、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的でありますが、一部の製品で脱プラスチックの影響を受けることが懸念されます。一軸延伸フィルムは、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要の低迷、贈答品包装用途が減少し、また、脱プラスチックの影響も受けているものと推察されます。

土木資材は、新型コロナウイルス感染症の影響は一切なく、防災・減 災需要の増加を背景に順調に推移するものと推察されます。

農業用資材は、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的ではありますが、国内人口の減少に伴い、一時的に影響を受けるものと推察されます。

次に、加工品事業における各製品の当連結会計年度の概況をご報告いたします。

ネトロン工材は、新型コロナウイルス感染症の影響は少なく、水処理 用資材の輸出需要増加等により、売上高・利益ともに前年度に比べ増加 いたしました。

ネトロン包材は、新型コロナウイルス感染症の影響により、青果物用ネットの巣ごもり消費が増加したものの、外食業界向けおよび水産用ネットの需要が低迷し、売上高・利益ともにほぼ前年度並みに推移いたしました。

ー軸延伸フィルムは、新型コロナウイルス感染症の影響により、イン バウンド需要の低迷および消費者の外出自粛により贈答品包装用途が減少し、売上高・利益ともに前年度に比べ減少いたしました。

土木資材は、独自工法の確立に加え、国土強靭化計画に伴う需要拡大 および災害復旧需要に対応したジオセル、ならびにその周辺部材が復興 に大きく貢献し、売上高・利益ともに前年度に比べ大幅に増加いたしま した。

農業用資材は新型コロナウイルス感染症の影響で、先行き不透明感による投資意欲の減退および市況低迷により、売上高・利益ともに前年度に比べ減少いたしました。

この結果、加工品事業の売上高は、83億8百万円で前年度比2億2 千万円の増収(2.7%増)、セグメント利益は9億4千6百万円で前年度比3億3千9百万円の増益(55.8%増)となりました。

### 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、前年度における一部の賃貸物件の売却により、売 上高は前年度に比べ減少いたしましたが、当事業年度に完成した埼玉県 さいたま市の戸建賃貸住宅であるパレットパークタウンは、現時点にお いて非常に高い評価を受けており、また、東京都北区の賃貸オフィスは、 満室の状態であり、今後の収益が期待されます。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は、4千5百万円で前年度比2億 1千4百万円の減収(82.4%減)、セグメント利益は4百万円で前年度 比1億1千5百万円の減益(96.5%減)となりました。

# インキ事業

### オフセットインキ

情報誌、フリーペーパー、新聞、書籍、パッケージや折り込みチラシなどの、紙を媒体とする印刷用のインキを提供しています。それぞれの用途において、環境配慮型製品を広くラインナップし、紫外線硬化型(UV)インキなど、お客様のさまざまなご要望にお応えします。

併せて、印刷補助剤や印刷関連資材、機械システムなどの販売も行なっています。

### グラビアインキ

牛乳パック、お菓子の箱、デパートの包装紙、食品用トレー、ラーメンやパンなどの袋、ダイレクトメールなど、私たちの身近なところで使用されるものへのインキを提供しています。また、着色

インキだけでなく、デザイン性に優れた意匠性インキや各種の機能を持たせた機能性コーティング 剤の開発・販売も行なっています。環境配慮型製品も幅広く取り揃えています。

### インクジェットインク

デジタル時代に合わせて、インクジェット用イン クの開発、製造を行なっています。

高機能かつ環境対応が求められる分野で、インキやプラスチック着色剤の開発で培った独自の分散技術を駆使し、紫外線硬化型インク (UVインク)を開発、グラフィックスから産業用まで、幅広い用途に対応しています。



# 化成品事業

### プラスチック用着色剤

自動車、家電、容器、フィルム等、私たちの身の回りにあるあらゆる分野のプラスチック製品に当社の着色剤が使用されており、コンパウンド、マスターバッチ、ドライカラーと成形条件に応じた着色剤を提供しています。また、住宅設備等に使用されるFRP用途を中心としたペーストカラーの提供も行なっており、幅広い分野の着色に取り組んでいます。

### プラスチック用機能性添加剤

プラスチックは軽量で成形しやすいなど多くの長所がある半面、紫外線等による劣化、燃焼しやすい、帯電しやすい等の欠点もあります。そのよう

な欠点を補うための機能性添加剤を提供しています。成形時に機能性添加剤を加えることでプラスチックに耐候性、難燃性、導電性等の各種機能を付与することが可能で、色とは異なる目に見えないところにも当社の製品が使われています。

### その他機能性製品

プラスチックの持つ長所を生かして、さまざまな機能性製品の開発・販売にも注力しています。熱可塑性樹脂を粉体化し、加熱溶融し冷却固化する特性を生かした接着剤用途のパウダー樹脂や、近年広がりを見せる3Dプリンター用のフィラメントやステージシーラント、変わったところでは放射線測定用材料なども提供しています。

# 加工品事業

### 土木・環境資材

当社の成形加工品テラセル (ジオセル) を中心に、災害復旧、防災対策、のり面補強、軟弱路盤補強などさまざまな用途の土木・環境資材を提供しています。資材提供だけでなく、状況に応じた各種工法と資材を一括提案することで、付加価値の高いソリューションを提案しています。

### 包装資材

青果物、お菓子、コイン、石鹸等の包装に 使用されているプラスチックネット包装や フィルム包装等、独自の加工技術による幅 広い分野での包装資材の提案・提供に取り 組んでいます。

### 産業資材

回転異形成形技術を駆使したろ過フィルター等の工業資材、さまざまな加工技術を組み合わせることで農作物の育成をコントロールする農業用資材など、幅広い分野における各種樹脂加工品の提供に取り組んでいます。



# 連結財務諸表

# ■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	(1 = = = > 31 37				
科目	<b>当 期</b> 2021年 3月31日現在	<b>前 期</b> 2020年 3月31日現在			
資産の部					
流動資産	25,655	24,903			
固定資産	20,128	18,355			
有形固定資産	14,003	12,042			
無形固定資産	632	664			
投資その他の資産	5,492	5,649			
資産合計	45,783	43,259			
負債の部					
流動負債	15,032	14,777			
固定負債	5,533	4,580			
負債合計	20,566	19,358			
純資産の部					
株主資本	24,186	23,806			
その他の包括利益累計額	876	△54			
非支配株主持分	154	149			
純資産合計	25,216	23,901			
負債及び純資産合計	45,783	43,259			
(ユ) ミニ サム なは、 ファロナサイフ リト・マン リナナ					

<sup>(</sup>注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# ■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当期 2020年4月 1日から 2021年3月31日まで	前期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,942	661
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,668	△442
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,319	△621
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△1
現金及び現金同等物の増減額	1,583	△404
現金及び現金同等物の期首残高	1,576	1,869
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	22	111
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△20	_
現金及び現金同等物の期末残高	3,161	1,576

<sup>(</sup>注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# ■連結損益計算書(要旨)

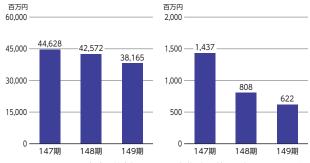
(単位:百万円)

科目	当期 2020年4月 1日から 2021年3月31日まで	前期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
売上高	38,165	42,572
売上原価	31,969	35,802
売上総利益	6,195	6,769
販売費及び一般管理費	5,939	6,176
営業利益	256	592
営業外収益	457	327
営業外費用	92	111
経常利益	622	808
特別利益	391	52
特別損失	123	29
税金等調整前当期純利益	889	830
法人税、住民税及び事業税	284	431
法人税等調整額	△2	△263
当期純利益	606	662
非支配株主に帰属する当期純利益	6	5
親会社株主に帰属する当期純利益	600	657

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# ■連結売上高推移

# ■連結経常利益推移



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ▶会社概要 (2021年3月31日現在)

会 社 東京インキ株式会社 TOKYO PRINTING INK MFG.CO.,LTD. 資 金 32億4,612.5万円 本 従 業 員 数 598名 業 創 大正12年(1923年)12月 上 場 東京証券取引所第2部 証券コード:4635 人 会 監 査 有限責任 あずさ監査法人 インターネット/ホームページアドレス https://www.tokyoink.co.jp/

# ▶主要な事業内容(2021年3月31日現在)

オフセットインキ・グラビアインキ・インクジェットインクの製造販売 各種塗料の製造販売

印刷用材料・印刷機械の販売

マスターバッチ・樹脂コンパウンドの製造販売

工業用・包装用ネトロンの製造販売

一軸延伸フィルムの製造販売土木資材・農業用資材の販売

不動産の賃貸

# ▶子会社(2021年3月31日現在)

林インキ製造株式会社東 都 足 区 京 立 荒川塗料工業株式会社 埼 玉 県 加 須 市 英泉ケミカル株式会社 埼玉県 比企郡 嵐山町 ハヤシ化成工業株式会社 千 葉  $\blacksquare$ 県 野 市 トーイン加工株式会社 宮 崎 県 都 城 市 東洋整機樹脂加工株式会社 愛 知 県 北 名 古 屋 東 京 イン キ 株 式 会 社 U.S.A. 米国カリフォルニア州シグナルヒル市 東京インキ(タイ)株式会社 タ イ 王 国 バ ン コ ク 都 東京油墨貿易(上海)有限公司 中華 人民共和国上海市

# ▶役員 (2021年6月25日現在)

取	締	役	会	長		大	橋	淳	男
代表	取締役	t長·补	生長執行	预員	業務全般統括、社長室、監査部、品質保証室担当	堀	Ш		聡
取締	殺・	常務	執行	役員	管理部門長 兼荒川塗料工業㈱代表取締役社長	榎	本	公	裕
取締	殺・	常務	執行	役員	営業部門長兼市場開発本部長	髙	松	典	助
取締	殺・	常務	執行	役員	生産・技術部門長兼第2生産・技術本部長 兼購買部長	浦	$\blacksquare$	浩	之
取		締		役	社外取締役	梅	木	佳	則
取		締		役	社外取締役	重	$\blacksquare$	安治	帥
常	勤	監	査	役	社外監査役	石	井	啓	太
常	勤	監	査	役	社外監査役	伊	東	義	人
監		査		役		小	林	俊	哉
執	行		役	員	営業部門インキ営業本部長	出		昭	仁
執	行		役	員	営業部門化成品営業本部長	太	$\blacksquare$	聖	也
執	行		役	員	営業部門加工品営業本部長	家	坂	正	史
執	行		役	員	生産·技術部門第1生産·技術本部羽生工場長	浅	見		博
執	行		役	員	生産・技術部門開発本部長	大田	3和	啓	之
執	行		役	員	生産・技術部門第1生産・技術本部長 兼第2製造部長	棚	澤	典	孝
執	行		役	員	管理部門副部門長兼理財部長	中	村	真	次
執	行		役	員	社長室長	鹿	野	昌	和

# ▶株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 ······ 7,400,000株 発行済株式総数 ···· 2,725,758株 株主総数 ···· 3,074名 大株主 (上位10名)

7(N-T (TE 10-0)		
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
共同印刷株式会社	240	9.18
東京インキ取引先持株会	194	7.43
東京インキ従業員持株会	126	4.82
有限会社久栄	110	4.19
東京海上日動火災保険株式会社	95	3.65
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	94	3.61
株式会社みずほ銀行	66	2.55
三井住友信託銀行株式会社	62	2.37
大橋淳男	57	2.18
明治安田生命保険相互会社	45	1.75

- (注) 1. 当社は、自己株式を102,928株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
  - 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

# ▶株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会毎年6月

株主確定基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金毎年3月31日中間配当金毎年9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告する日

公 告 の 方 法 日本経済新聞に掲載

単 元 株 式 数 100株

株主名簿管理人および東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別□座の□座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵 便 物 送 付 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、口座 のある証券会社宛にお申出ください。

なお、証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# ▶株主優待のご案内



当社は、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上保有の株主様に1,000円分のオリジナルクオカードをお送りいたします。